

謹賀新年



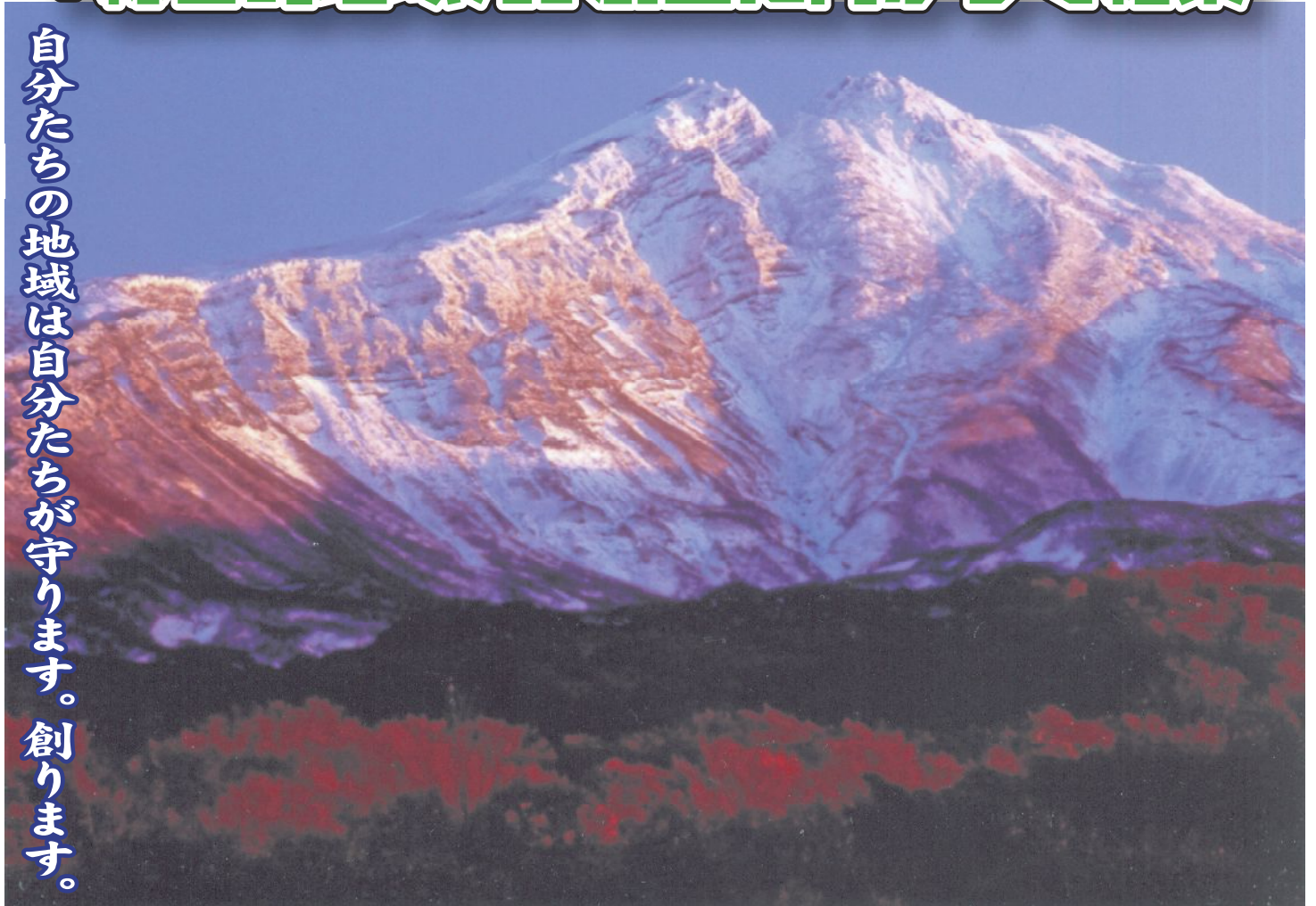
市民ネット

由利本荘市議会会派活動報告

市民ネットHPアドレス <http://shiminet.exblog.jp>

「総合的地域力」創出に向かって結集

自分たちの地域は自分たちが守ります。創ります。



『紅富士鳥海山』 写真撮影：須藤秋男氏

会派「市民ネット」
結成にあたり



会長
伊藤 順男

論語に出てくる言葉に「友をもって仁を輔ける」とあります。これは「勉強するために集まってきた友達の知恵と力を集めて、自分の仕事を進めていく助けにする」の意であります。

これを私たちに引用すると、選挙を通して市民から負託された諸々の課題を、知恵と力を集め市民の福祉向上に資すること、すなわち市政に反映するための政策集団を目指すものであります。

こうした思いを胸に私たち6人は与えられた任期を「チェック&バランス」いわゆる二元代表制の意義(首長も議員も市民の直接選挙で選ばれた)を尊重し、議会においては「是々非々」を基本理念に活動することを誓い、会派「市民ネット」立ち上げました。

命名は、住民自治の主人公たる市民とのネットワークを第一義に中心部周辺部が連携協力の関係を築き、農工商共に発展を是とした政策集団を目指すものであります。

今後とも市民皆様からのご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年10月新市として2回目の議会議員選挙が行われ、新たに30人の議員が選ばれました。

私たち6人の議員はこれからの4年間で「チェック&バランス」を基本理念に活動することを誓い、市議会会派「市民ネット」を立ち上げました。



命名は、自治の主人公である市民とのネットワークを第一義に、農工商連携発展（中心部、周辺部）を是とした政策集団を目指すことにより市政の発展に取り組むものです。

一、チェック&バランスを基本に新しい町づくりに取り組む政策集団
一、市民とのネットワークを第1義に農工商連携発展を是とした政策集団
一、市民の要望を市政に反映させる議員集団

● 会派「市民ネット」活動方針

- 市民との連携 …… ● ホームページを開設しましたのでご覧ください。
- タウンミーティングを各地域で実施

● 政策担当

- 総務・福祉・政策 ◎ 佐藤 竹夫、伊藤 順男
- IT、商工業政策 ◎ 長沼 久利、湊 貴信
- 農林業政策 ◎ 高橋 信雄、土田与七郎

医師不足による診療廃止や縮小などによって患者の不安感が大きく、市、県、国が一体となって一日も早く解決しなければならぬ問題です。地域や市民の要望を的確に把握し、「安全安心して暮らせるまちづくり」「活気とにぎわいのあるまちづくり」のために議会と行政が一体となって課題に積極的に取り組んで参ります。議員1人よりも会派6人が、6人よりも議会の30人が誠心誠意全力で仕事をすることを市民に約束します。

▼ **おもい**
 今議会では9会派が誕生しました。議会が市民の付託に答えるためにも、活発な議会活動を通して議員の存在意義を認めてもらうことが大切と思っています。本市には財政不安、医師不足による医療不安、雇用不安、少子高齢化対策、過疎化対策等々課題は山積しており、公債費比率の増嵩は、北海道夕張市のような状況を想定した不安感を与えております。事業や予算に対する徹底した検証をして歳出の縮減を図るため、民間委託や指定管理者制度の活用を推進する必要があります。

プロフィール
 昭和17年3月16日生
 (旧石沢村生)
 秋田県立本荘高等学校卒業
 秋田県庁を定年退職後、由利郡町村会事務局長、由利郡町村議会議長会事務局長を歴任
 平成17年 由利本荘市議会議員
賞歴 平成8年 自治大臣表彰受章
モットー 公平、誠実、実行
今回選挙の私のテーマ
 市民と共同による活気のあるまちづくり



さとう たけお
佐藤 竹夫

暖冬予測が転じて大雪となった昨年の暮れ。「新しい年明けはどうであろうか。」そんな事を思いながらも、新年の清々しい気持ちを抱きつつ鎮守へと向かった。元旦の朝、村内の一同が会し新年の挨拶と地域社会の安寧、そして地域住民の一年間の健康、安全を祈願する恒例の拝賀式である。皆一同で打つ拍手の音が神社内に響き渡り、新年を迎えた実感と共に「今年こそは」と心に誓い、決意を新たにしたい人々は多かったと思われる。家族や自身の健康や安全、職場の発展や就職と雇用、また豊作や農業の復興、平穏無事な地域社会、そして平和な国際社会等々、人さまざまであるのが、昨今の厳しい経済状況から、景気の回復を願う人が多かったのではないだろうか。

▼ **おもい**
 暖冬予測が転じて大雪となった昨年の暮れ。「新しい年明けはどうであろうか。」そんな事を思いながらも、新年の清々しい気持ちを抱きつつ鎮守へと向かった。元旦の朝、村内の一同が会し新年の挨拶と地域社会の安寧、そして地域住民の一年間の健康、安全を祈願する恒例の拝賀式である。皆一同で打つ拍手の音が神社内に響き渡り、新年を迎えた実感と共に「今年こそは」と心に誓い、決意を新たにしたい人々は多かったと思われる。家族や自身の健康や安全、職場の発展や就職と雇用、また豊作や農業の復興、平穏無事な地域社会、そして平和な国際社会等々、人さまざまであるのが、昨今の厳しい経済状況から、景気の回復を願う人が多かったのではないだろうか。

プロフィール
 昭和23年1月22日生
 県立西目農業高校卒業
議員歴
 平成3年 矢島町議会議員
 平成17年 由利本荘市議会議員
趣味 歴史探訪
座右の銘
 「和を以て貴しと為す」
今回選挙の私のテーマ
 「地域の想いを市政につなぐ」



つちだ よしちろう
土田与七郎



伊藤 順男
会長

プロフィール
昭和27年2月6日生
秋田県立西目農業卒
1級建築士
議員歴
平成9年10月 大内町議会議員
趣味 音楽鑑賞
ポポロ合唱団代表・合唱の仲間と歌った後の爽快さ中毒
座右の銘 感謝報恩
今回選挙私のテーマ
生活者重視の行政を

▼**おもい**
議員としての活動を大別すると、「議会活動」(公務・準公務にかかる活動)と「政治活動」(議員個人の色彩の強い日常活動)に分けることができます。
私たちは「議員活動」というと「議会活動と政治活動」の総称として使っています。また、議員活動において「関係を絶ちたい」ということを「しがらみ」といいます。さて、「議員活動としがらみ」について私の手帳にこのように認めています。
○「しがらみ」は「議員活動」をやる上での財産、それによって活動の判断となる資料が豊富になる。また、判断力も鍛えられる。
○自分の地元のために働くのは活動の場を与えてくれたことに対する感謝の気持ち。
○代弁者になりたくなくなったら、自ら市民に近づけば良い。
○「しがらみ」や地元意識はいわば諸刃の剣のようなもの。「議会活動」にとつてこれほど悩ましいものはない。
○「しがらみ」を持ちながらそれに縛られない議会活動を目指す
合併6年目を迎える本市はこれまで以上の行財政改革(議員定数削減含む)が求められています。こうしただけで「しがらみ」をすべて否定するものではありませんが、基軸は「新市の近未来、将来像はどうあるべきか」という観点から、チェック&バランスと提案を是とした議員活動を目指します。



長沼 久利
副会長

プロフィール
昭和31年1月1日生
昭和49年 県立湯沢商工卒
議員歴
平成12年7月 東由利町議会議員
趣味 下手なフォークギター
座右の銘
よい政治家とは明日、来週、来月そして来年どうなるのかを予告でき、かつ、なぜそうだったかを説明できる人間である。(チャーチル・ウィンストン)
今回選挙の私のテーマ
思いやり・一体感

▼**おもい**
「再生の町」以前に放映された某テレビ局の番組タイトル。市の財政危機発覚後、ニュータウン計画推進派と縦割りと前例主義を撤廃し市民参加の行政を訴える議員の葛藤を描いたドラマである。
140年にも及ぶ中央集権体制が政権交代と共に変化の時を迎えようとしている。時を同じくして政府の地方分権改革推進委員会の勧告で「地方政府」という表現を用いている。今までは中央政府に対して「地方公共団体」であった。中央政府に対して公共的な下請けをする団体が「地方公共団体」であり上下主従の関係で動いてきたことになる。自治財権、自治行政権、自治立法権の確立こそ重要である。その中で市議会にもっとも重要なものが立法機能である。なぜかそれは財政権、行政権を掌握できる機能があるからである。そう考えると私たちの役割は益々重要である。「市民の力を活かしたまちづくり」それは市民、議員、市長・職員のそれぞれの役割を認識することから始まる。
葛藤を乗り越え新しい時代を築いていきましょう。



高橋 信雄
副会長

プロフィール
昭和33年4月27日生
東京農業大学農学部卒
議員歴
平成11年11月 由利町議会議員
趣味
スポーツ観戦、山野草鑑
バッタ織り、竹細工
ざっこつり
座右の銘
知行合一

▼**おもい**
「福祉と教育は最優先」この私の想いは市政を推進していく者として言葉の重みと、いかにしたら実行できるか任期中毎日かみしめながら努力して参ります。
具体的に福祉面では、高齢者が必要とする各種サービスが一人でも多くの方々にゆき渡るように、同時に慢性的施設不足の改善に取組みます。
また障がいのある方や養護学校を卒業した若いみなさんが共に地域で働き、生活できるために一日も早い通所作業所の建設も実現していかなければなりません。
教育面では、全国的に高い小中の学力を高校・大学進学までの結果につなげたい。もちろん生涯学習やスポーツが地域の元気につながるように応援していきます。
農業関係では、米と米以外の作物などとの複合収入で所得向上をはかり、国・県の農業政策を支援していきたい。
最後に、世界的大不況の中で就職難、失業、商工業・中小企業の不振などとも困難な問題がたくさんありますが「このまちの市民でよかつた」と思っていただけのように夢と希望を失わず市政にがむしゃらに取り組んでいきます。いつでもどんな事でも声を掛けてください。



湊 貴信
会計

プロフィール
昭和40年8月26日生
秋田商業高校卒(35期)
秋田経済法科大学経済学部卒
議員歴
平成21年11月 由利本荘市議会議員
趣味 音楽鑑賞
座右の銘
Never Too Late
今回選挙の私のテーマ
もっと行政を身近に

▼**おもい**
選挙戦を通じ「もっと行政を身近に」「即行動に移す実践力」「地域の代弁者となる」を政治信条に市民の声を市政に提言し、より豊かな暮らしの実現を訴えてまいりました。
特に、安心して暮らせる地域づくり、地域の特長を活かしたまちづくり、教育環境の充実と人材育成、地域産業の振興、情報インフラの整備などについて提言し、問題共有を図ってきたところであります。
任期の4年間、市民の負託に応え、由利本荘市の未来航路を創り上げることに、一生懸命努力してまいります。



平成22年度予算に対する会派提言

H21.12.24

1. 総務関連【スクラップ&ビルド】

- 情報格差是正のため光回線の早期敷設。
ケーブルテレビ機器等運用推進
- 職員定数減に伴う事務事業等見直し
- 市有林財産の外部委託等による適正管理
(混交林化の実施)
- 鳥海高原花立畜産センターの指定管理者による特徴
ある地域酪農推進
- 由利高原鉄道各駅愛好会への活動助成金の増額

2. 教育民生関連【生活者重視、少子、高齢】

- 学校の規模適正化。また、耐震化を含めた安全対策
- 市立保育園の福祉法人化等の早期実現
- 私立保育園待機児童解消。また、学童保育料の上限
額の制定
- 自助、共助を基本とした集落ミニディサービス事業の
推進
- 元気を育む生涯学習の推進

3. 産業経済関連【雇用・連携・環境】

- 農・工・商連携事業の推進(異業種交流事業の創設と
支援)
- 地域観光資源の再発掘による交流人口の創出(農家
レストラン、民宿等体験、滞在型への取り組み)
- 地球温暖化(二酸化炭素削減)に対応した風力、バイ
オマス発電促進
- 緊急雇用対策事業の継続と市独自の雇用対策の実施
- 土作り実証米と土壌改良剤への支援継続

4. 建設関連【安心、安全】

- 国療跡地利活用のための「仮称、国療跡地利活用検
討委員会」の設置
- 芋川河川改修促進(北福田橋上流)
- 県道大内大森線小羽広地内(約1キロ区間)道路拡幅
改良
- 鮎川兩岸の築堤改良等による水害対策
- 市道坂之下線狭隘箇所改良と防雪柵の設置

県道「羽後本荘停車場線」 (通称本町通り、大町通り) 道路改良の早期着手についての要望

当区間は幅員8m、延長約370mで両端は区画整理事業によりそれぞれ4車線化されており、歩道の設置、緊急車両のスムーズな運行、交通安全等を含め早期改良の要望となっています。会派では促進協議会役員より現地で説明を受け調査。また、市当局からは今後の整備方針について説明を受けた後に、早期改良促進を確認した。

裏尾崎町拡幅促進協議会より
出された現地を調査



会派への要望に即現地調査
(平成21年12月11日)

編集
後記

新しい年の初めに激しい風雪に見舞われ、今年の見通しを重ね合わせた。古い規律と価値基準を持つ人には「厭な世の中」であり新しい発想と勇気を持つ人には「おもしろい時代」である。現実を見つめ、後世に負債を残すか、明治維新の大改革に踏み切るか、二者択一の時である。孫子曰く「国の興るは一瞬にして、国の滅ぶも一瞬なり」と……。その責務は重い。自らが何をすべきか。新しい地域ビジョンの実現のため6人が集結して前進を誓うものである。
(長)